

(5) 地方一般行政職と小・中学校教職員の年齢別給料月額の比較 (分析結果)

財務省配付資料の記述(P7. P8)

「地方一般行政職と小・中学校教職員の年齢別給料月額の比較」

●教員の本給は一般行政職より 11%高い

(平均給料月額の比較) 平成15年度

一般行政職 358,852円・・・A
教員 399,842円・・・B

$$B/A = 11\%$$

(注)一般行政職には時間外勤務手当が含まれていないが、教員には時間外勤務手当見合いの教職調整額が含まれている。

●年齢別で見ても、 教員の給与は一般行政職に比べて 全ての年齢層で高い

文部科学省の分析結果

●教員の給与(本給+諸手当)は 一般行政職より4%高い

- ①処遇を単純に比較するのであれば、少なくとも
本給と諸手当の合計額で比較すべき
- ②さらに、正しく同一条件で比較するには、
平均年齢・学歴の違いの調整が必要

	平均年齢	学歴
一般行政職	42.4歳	大卒・短大卒63%, 高卒37%
教員	43.0歳	大卒・短大卒100%

同一条件で比較すれば、優位性は2%

(給与月額の比較)

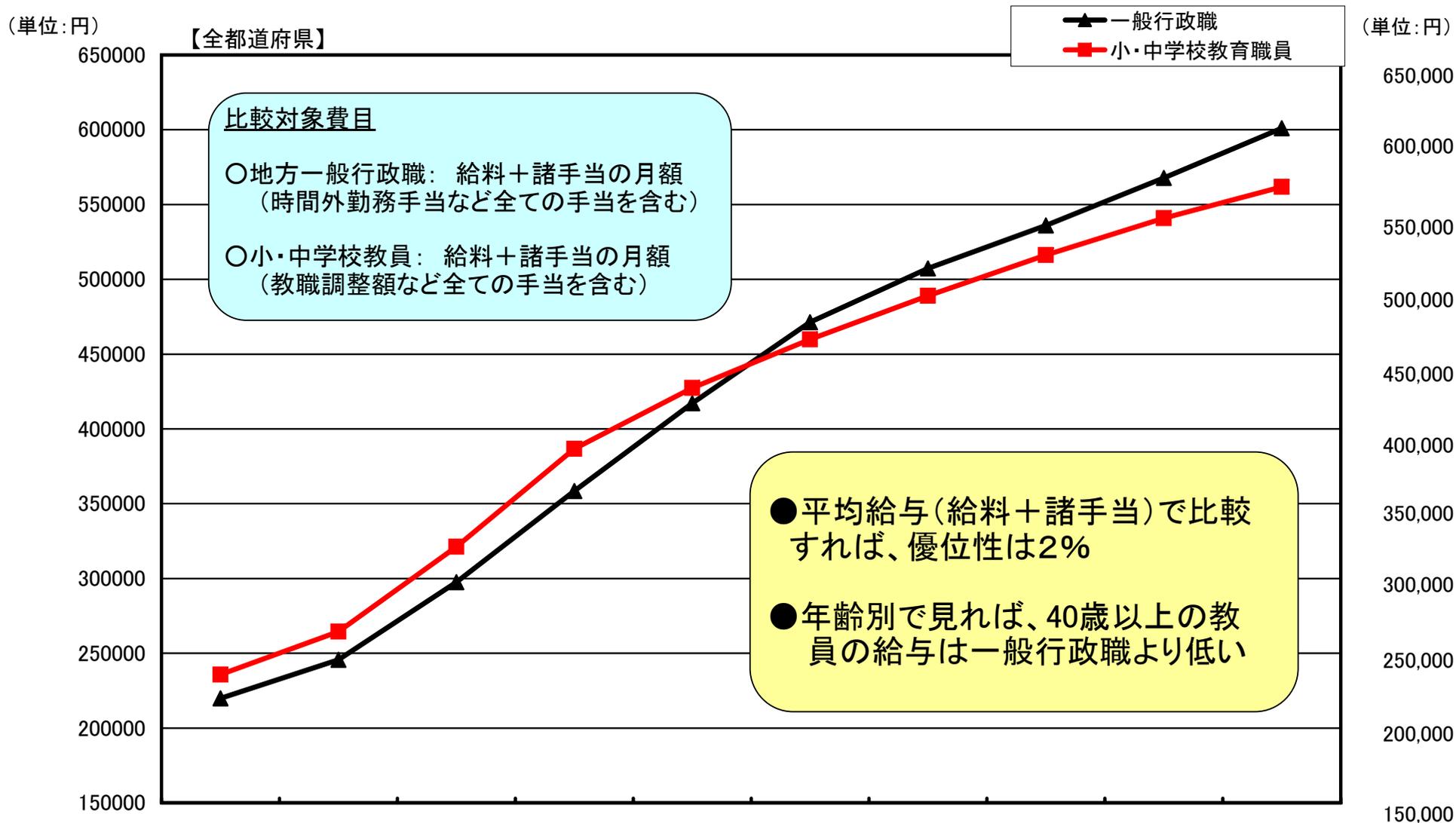
一般行政職 442,781円(100)
教員 451,974円(102)
警察官 520,145円(118)

(警察官は同一条件で18%高い)

●年齢別で見ると、 40歳以上の教員の給与は一般行政職 より低い

※「骨太の方針2006」(平成18年7月7日閣議決定)において、「義務教育費国庫負担金について人材確保法に基づく優遇措置を縮減する」ことが明記されたが、この縮減の規模は6月21日の自民党歳出改革プロジェクトチームにおける検討の中で教員給与の優位性は2.76%と認定された。

地方一般行政職と小・中学校教職員の年齢別給与(給料+諸手当)月額比較【大卒者のみで補正後】
(平成15年度ベース)



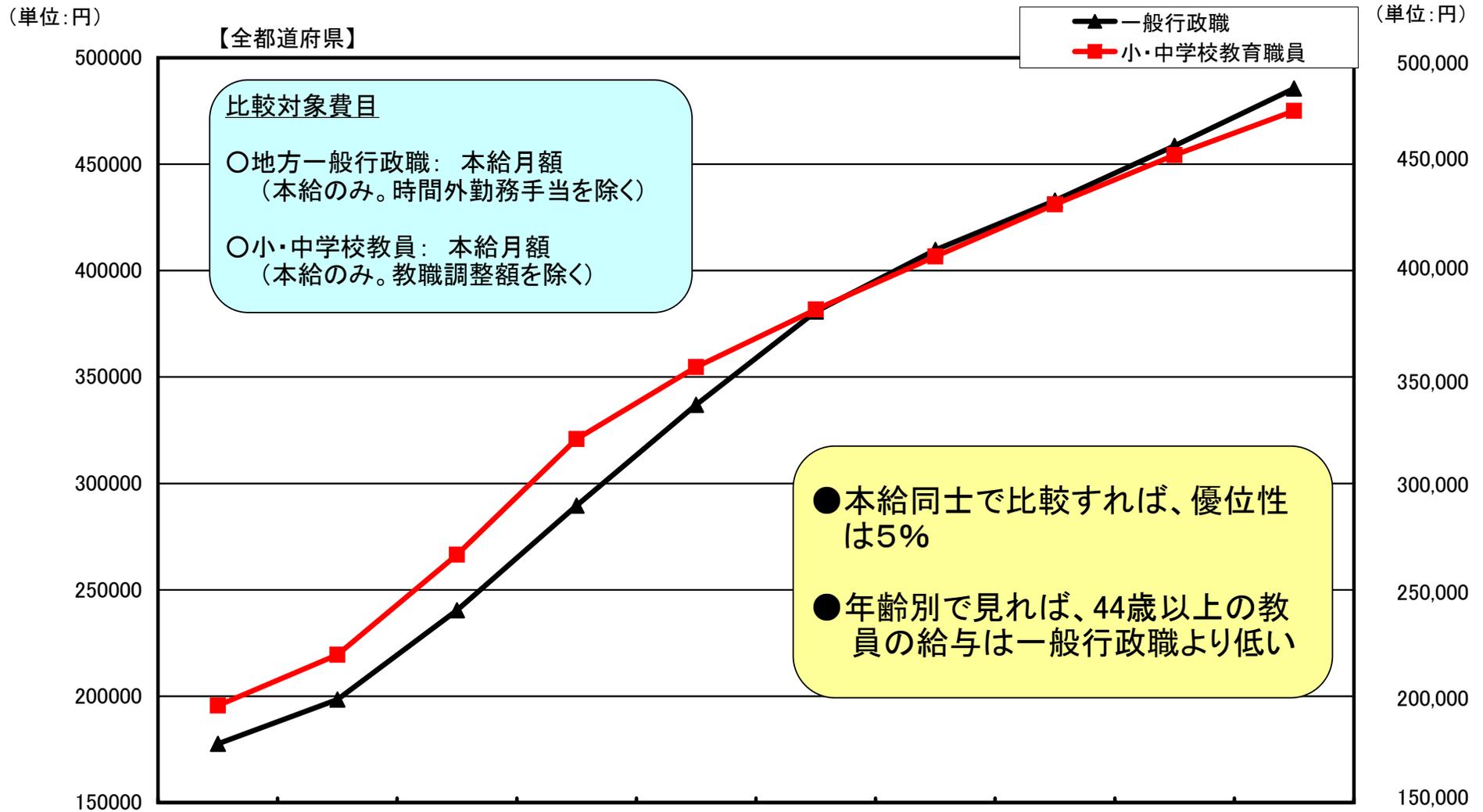
給料+諸手当(補正後)	22歳~23歳	24歳~27歳	28歳~31歳	32歳~35歳	36歳~39歳	40歳~43歳	44歳~47歳	48歳~51歳	52歳~55歳	56歳~59歳	平均月額	平均年齢
一般行政職 a	219,892	245,635	297,577	358,525	417,160	471,364	507,285	535,969	567,788	601,115	442,781	41.6
小・中学校教育職員 b	235,797	264,459	321,270	386,689	427,420	459,799	489,083	516,209	540,846	561,725	451,974	42.7
b/a	107%	108%	108%	108%	103%	98%	96%	96%	95%	93%	102%	

※ 一般行政職及び教育職員はともに大卒者のみに補正。

小・中学校教育職員の給与額(給料+諸手当(補正後))については、平均年齢(大卒者)が教育職員42.7歳、一般行政職41.6歳であることから、それぞれ1.1歳分を減じた額としている。

※ 平成15年度地方公務員給与の実態(平成15年度地方公務員給与実態調査結果より)

地方一般行政職と小・中学校教職員の年齢別本給月額(教員には教職調整額を除く)の比較【大卒者のみで補正後】
(平成15年度ベース)



給料(補正後)	22歳~23歳	24歳~27歳	28歳~31歳	32歳~35歳	36歳~39歳	40歳~43歳	44歳~47歳	48歳~51歳	52歳~55歳	56歳~59歳	平均月額	平均年齢
一般行政職 a	177,619	198,413	240,369	289,600	336,963	380,746	409,762	432,931	458,633	485,553	357,658	41.6
小・中学校教育職員 b	195,648	219,430	266,567	320,849	354,644	381,692	406,690	431,096	454,276	475,010	376,684	42.7
b/a	110%	111%	111%	111%	105%	100%	99%	100%	99%	98%	105%	

※ 一般行政職及び教育職員はともに大卒者のみに補正。

小・中学校教育職員の給料(補正後)については、平均年齢(大卒者)が教育職員42.7歳、一般行政職41.6歳であることから、それぞれ1.1歳分を減じた額としている。

小・中学校教育職員は、校長、教頭を除く教員について教職調整額(4%相当額)を除いた額としている。

※ 平成15年度地方公務員給与の実態(平成15年地方公務員給与実態調査結果より)